

残留農薬のリスクコミュニケーションを府保健環境研究所で開催

平成25年3月18日
食の安心・安全推進課

去る3月14日、食品の残留農薬に関するリスクコミュニケーションを府保健環境研究所で開催しましたので報告します。

体験型のリスクコミュニケーションを今回を含め2回実施したところ、参加者に好評であったことから、アンケート結果をPDCAしながら、来年度さらに拡大して実施したいと考えています。

参加者のアンケート

- 「農薬への不安が、ある程度解消された」との回答が80%
- 主な意見
 - ・ 使用基準がしっかりあるのが良かった。
 - ・ 残留農薬のチェックがなされ、ある程度の量が体内に入っても相当の量を毎日食べ続けられないかぎり、安心であることが理解できた。
 - ・ 実際に農薬検査されている方法を見て、安心感が増した。

記

- テーマ : 食の安心・安全意見交換会～残留農薬検査の現場を見学してみよう～
- 日時 : 平成25年3月14日(木) 13～16時
- 参加者 : くらしの安心推進員など府民26名
- 概要 :

【残留農薬検査機器等の見学】



試験溶液の調整（試料の前処理）を見学



ガスクロマトグラフ質量分析計での残留農薬検査の現場を見学

【意見交換会】



情報提供「農薬使用基準及び適正使用について」



参加者の質問にていねいに説明